

平成3年度支部総会報告(2)

関西支部

日時：平成3年4月13日(土) 14:30~17:30

場所：中央電気倶楽部

議題：

1. 平成2年度事業報告

(1) 支部総会・記念講演会の開催

日時：平成2年4月21日

場所：神戸商科大学

記念講演：浅居喜代治(大阪工業大学)

「ファジィ理論と応用の現状」

坂野明正(日本総合研究所)

「S I Sにおける情報処理としてのA Iの位置づけ」

総会議題：1) 平成元年度事業報告・決算

2) 平成2年度事業計画・予算案

3) 支部役員選任

4) その他

・会員増強の件

・O R企業サロンの関西での開催の件

・秋季研究発表会の関西での開催の件

・自動制御学会と共同でシンポジウムの開催の件

(2) 支部研究講演会の開催

第1回

平成2年7月14日(芦大クラブ)

土屋守章(東京大学)

『S I Sの現状と展望』

第2回

平成2年9月8日(大阪大学)

1) 田畑吉雄(大阪大学)

『ファイナンスにおける若干の問題点』

2) 中島恭一(姫路工業大学)

『システムの安全性と信頼性に関するいくつかの話題—安全確保の原則を中心として』

第3回

平成3年1月23日(三田出版会)

1) 奥林康司(神戸大学)

『人と先端技術の調和に果たす技術者の役割』

2) 高瀬公宥(トヨタ自動車)

『自主管理型生産方式の試み』

第4回

平成3年2月5日(兵庫県教育会館)

Milan Vlach(Charles University)

『New Error Bounds for Aggregation of Variables in Linear and Nonlinear Programming』

(3) 研究部会の開催

1) 最適化とその応用研究部会

主査：加藤直樹(神戸商科大学)

幹事：一森哲男(大阪工業大学)

木庭 淳(神戸商科大学)

京都、大阪、神戸で6回の研究会を開催し、11人11件の発表がなされた。

2) 応用確率論研究部会

主査：寺岡義伸(姫路工業大学)

幹事：中井 達(神戸大学)

大阪および京都で5回の研究会を開催して9人10件の発表がなされた。また、見学会を1回開催した。

3) 情報システムの戦略的活用研究部会

主査：辻 新六(神戸商科大学)

幹事：蒲田卓恭(住友金属工業㈱)

有馬昌宏(神戸商科大学)

大阪・芦大クラブを会場に9回の研究会を開催し、8人8件の講演と1回のパネルディスカッションを行なった。

4) 人と先端技術研究部会

主査：藤井 進(神戸大学)

幹事：岡本正昭(大阪瓦斯㈱)

大阪・大阪瓦斯ならびに三田出版会を会場として

9回の研究会を開催した。

(4) 本部主催の『OR企業サロン』の関西地区での開催への協力

平成2年10月11日(木)に日本精工(株)副社長細田正勝氏をゲストスピーカーに迎えて(株)関西情報センターにおいて開催された本部主催の第3回OR企業サロンの開催に協力した。

(5) 平成3年度秋季研究発表会実行委員会の結成

平成2年10月1日に運営委員会を開催し、平成3年度秋季研究発表会実行委員会を結成した。実行委員会構成メンバーは次に示す通り。また、研究発表会の日程等は以下の通り。

1) 平成3年度秋季研究発表会

日時: 1991年10月16日(水), 17日(木)

場所: 関西大学

2) 見学会

日時: 1991年10月18日(金)

場所: 未定

平成3年度秋季研究発表会実行委員会

委員長 三根 久 (関西大学)

副委員長 森 健一 (関西大学)

委員 青沼龍雄 (神戸商科大学), 大西匡光 (京都大学), 岡本正昭 (大阪瓦斯(株)), 加藤直樹 (神戸商科大学), 三道弘明 (流通科学大学), 竹中文男 (神戸製鋼(株)), 田村坦之 (大阪大学), 徳山博干 (住友金属工業(株)), 中山弘隆 (甲南大学), 二宮 清 (ダイキン工業(株)), 能勢豊一 (大阪工業大学), 野村淳二 (松下電工(株)), 林 芳男 (近畿大学), 福島雅夫 (京都大学), 藤井 進 (神戸大学), 町原 英 (塩野義製薬(株)), 真庭 功 (追手門学院大学), 見市 晃 (関西大学), 米山寛二 (株)CSK)

2. 平成2年度決算報告

(1) 収支計算書

1990年3月1日~1991年2月28日

(収入の部)

(単位: 円)

勘定科目	予算額	決算額	説明
①本部交付金	792,000	792,000	正会員347名, 賛助会員15社
②その他収入	0	4,360	利息収入
③収入合計	792,000	796,360	今期の収入合計
④前期繰越金	103,017	103,017	前期からの繰越金
⑤合計	895,017	899,377	収入合計+前期繰越金

(収出の部)

勘定科目	予算額	決算額	説明
⑥会議費	120,000	128,618	3回の運営委員会費, 記念講演会費
⑦研究講演会費	160,000	160,000	研究講演会を4回開催 (@40,000×4)
⑧研究部会費	200,000	200,000	4研究部会設置 (@50,000×4)
⑨見学会費	10,000	0	見学会は未開催
⑩通信費	160,000	124,032	ニュースレター5回発送予定で4回発送
⑪交通費	75,000	64,000	3回の運営委員会の運営委員交通費
⑫事務費	45,000	41,385	事務消耗品, ニュースレター発送アルバイト代
⑬予備費	125,017	0	
⑭支出合計	895,017	718,035	今期の支出合計
⑮当期剰余金 (③-⑭)	△103,017	78,325	今期の収支差額
⑯前期繰越金	103,017	103,017	前期からの繰越金
⑰合計	895,017	899,377	支出合計+当期剰余金+前期繰越金

(2) 貸借対照表

平成3年2月28日現在

(単位: 円)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
銀行預金	181,342	前期繰越金	103,017
		当期剰余金	78,325
総合計	181,342	総合計	181,342

3. 平成3年度事業計画

(1) 総会の開催

日時: 平成3年4月13日

会場: 中央電気倶楽部

記念講演: 加藤直樹 (神戸商科大学)

「パラメトリック組合せ最適化問題とその応用 (1989年度OR学会文献賞受賞)」

占部邦彦 (マイカルシステムズ)

「流通業のPOSシステムの活用とSISへの展開」

総会議題: 第1号議案 平成2年度事業報告・決算

第2号議案 平成3年度事業計画・予算

第3号議案 支部役員選出の件

第4号議案 その他

(2) 支部大会の開催

支部長が支部大会の開催を必要と判断したとき、運

営委員会と相談の上開催する。

(3) 支部研究講演会の開催

- 1) 4回を予定。
- 2) 担当主査は、各研究部会の主査が担当する。
- 3) 本部研究普及委員会主催の『定例講演会』の開催を含む。

(4) 研究部会の開催

予算や研究講演会実施の面から、昨年度から継続の

4 研究部会の設置が適当である。

- 1) 最適化とその応用
主査：加藤直樹（神戸商科大学）
幹事：木庭 淳（神戸商科大学）
 - 2) 応用確率論
主査：寺岡義伸（姫路工業大学）
幹事：濱田年男（姫路短期大学）
 - 3) 情報システムの戦略的活用
主査：辻 新六（神戸商科大学）
幹事：有馬昌宏（神戸商科大学）
蒲田卓恭（住友金属工業）
 - 4) 人と先端技術
主査：藤井 進（神戸大学）
幹事：岡本正昭（大阪瓦斯）
- (5) 見学会開催の件
適当な見学先があれば開催する。
- (6) 本部主催のOR企業サロン関西地区での開催への協力
本部主催の『OR企業サロン』の関西地区での開催に協力する。

(7) 平成3年度秋季研究発表会の開催への協力

下記の要領で開催される平成3年度秋季研究発表会に協力する。

- 1) 平成3年度秋季研究発表会
日時：1991年10月16日（水）、17日（木）
場所：関西大学
特別テーマ：経営の国際化
- 2) 見学会
日時：1991年10月18日（金）
場所：未定
大会実行委員長 三根 久（関西大学工学部）

(8) 第26回シンポジウムの開催への協力

下記の要領で開催される第26回シンポジウムに協力する。

日時：1991年10月15日（火）

場所：未定

テーマ：戦略的情報システム（仮題）

4. 平成3年度予算

1991年3月1日～1992年2月28日

(単位：円)

勘定科目	予算案	説明
(収入の部)		
①本部交付金	887,200	正会員360名, 賛助会員A19, B.2. 95,200円増
②その他収入	0	
③収入合計	887,200	91年度収入合計
④前期繰越金	181,342	前年度より78,325円増加
⑤合計	1,068,542	収入合計+前期繰越金
(支出の部)		
⑥会議費	120,000	記念講演謝礼 (@20,000×2), 運営委員会2回, 総会
⑦研究講演会費	160,000	4回の研究講演会 (@40,000×4)
⑧研究部会費	200,000	4研究部会 (@50,000×4)
⑨見学会費	10,000	見学会運営費
⑩通信費	160,000	ニューズレター発行5回 (@26,000×5), 事務連絡費等
⑪交通費	50,000	運営委員会2回開催相当分
⑫事務費	50,000	案内状発送作業 (@6,000×5), 事務消耗品費等
⑬予備費	318,542	運営準備金
⑭支出合計	1,068,542	91年度の支出合計
⑮当期剰余金	0	
⑯合計	1,068,542	

5. 平成3年度関西支部役員

- 支部長 藤井 進
副支部長 茨木俊秀
監事 木内佳市, 長尾 卯
運営委員 岡本正昭, 木瀬 洋, 塩出省吾, 田村坦之, 寺岡義伸, 中山弘隆, 福島雅夫, 有馬昌宏, 太田 宏, 大西匡光, 加藤直樹, 新森修一, 竹中文男, 徳山博干, 二宮清, 能勢豊一, 野村淳二, 濱田年男, 町原 英, 真庭 功, 森 健一, 米山寛二
幹事 三道弘明

中国・四国支部

日時：平成3年3月6日

場所：中国電力㈱

議題：

1. 平成2年度事業報告

(1) 総会 1回

日時：平成2年4月3日

場所：中国電力㈱

議題：平成元年度事業・決算報告
平成2年度支部役員選出
平成2年度事業・予算計画
その他

(2) 役員会 1回

日時：平成2年4月3日

(3) 幹事会 4回

日時：平成2年3月8日，4月3日，3年1月9日，
2月18日

(4) 講演会 6回（内，定例講演会1回）

1) 日時：平成2年3月6日

場所：徳島大学工学部

演題：A Mathematical Basis for Satisficing
Decision Making

講師：A. P. Wierzwicki（京都大学）

2) 日時：平成2年7月31日

場所：中国電力㈱

演題：Product Warranty：An Overview and
New Problems（品質保証一観と新しい
問題）

講師：D. N. P. Murthy（The University of
Queensland）

3) 日時：平成2年9月14日

場所：広島市工業技術センター

演題：品質向上に対するユーザーの満足度合いと
メーカーの設計重点

講師：秋庭雅夫（東京理科大学）

4) 日時：平成2年11月2日

場所：中国日本電気ソフトウェア㈱

演題：新しい資産運用モデルについて

—確率ネットワーク法を中心に—

講師：澤木勝茂（南山大学）

5) 日時：平成2年12月12日

場所：中国電力㈱

演題：F I S Mの理論とそのアルゴリズム

講師：大内 東（北海道大学）

6) 日時：平成3年1月24日

場所：岡山大学工学部

演題：New Error Bounds for Aggregation
of Variables in Linear and Nonlinear
Programming

講師：ミラン・ブラッハ（東京大学）
（OR学会定例講演会）

(5) ORサロン 3回

1) 日時：平成2年7月24日

場所：中国電力㈱

演題：対話型ORをめぐるって

—方法論的背景を眺めて—

講師：宮崎正史（広島女子商短期大学）

2) 日時：平成2年8月23日

場所：広島ステーションホテル

演題：対話型統計解析をめぐるって

講師：芳賀敏郎（東京理科大学）

3) 日時：平成2年12月12日

場所：中国電力㈱

演題：F I S Mの理論とそのアルゴリズム

講師：大内 東（北海道大学）

(6) シンポジウム 2回

1) 日時：平成2年6月12日

場所：マツダ㈱

演題：ファジィとORのマッチング

講師：坂和正敏（広島大学）ほか

2) 日時：平成2年9月14日

場所：広島県立産業技術交流センター

演題：ORからの投資理論

講師：河合 一（鳥取大学）ほか

(7) 研究部会

1) 投資のOR研究部会

研究会 6回

2) ファジィとOR研究部会

研究会 4回

3) 地域経営研究部会

研究会 2回

2. 平成3年度会計決算報告書

(1) 収支決算書

平成2年3月1日～平成3年2月28日

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	375,000	414,400	
預金利息	500	2,799	
その他	0	3,170	ORサロン残金
① 合計	375,500	420,369	
(支出の部)			
会議費	30,000	10,290	
講演会費	80,000	75,000	
研究発表会費	20,000	0	
ORサロン費	40,000	30,450	
シンポジウム費	100,000	58,937	
研究部会費	150,000	128,925	
通信費	70,000	80,138	
印刷費	50,000	28,840	
交通費	35,000	22,500	
事務費	20,000	15,716	
予備費	5,511	999	
② 合計	600,511	451,795	
③ 当期運営残高		△31,426	①-②
④ 前期繰越金		225,011	
⑤ 次期繰越金		193,585	③+④

(2) 貸借対照表

平成3年2月28日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	前期繰越金	225,011
預 金	193,585	当期運営残高	△ 31,426
合 計	193,585	合 計	193,585

3. 平成3年度事業計画

- (1) 総 会 1 回
- (2) 役 員 会 若干回
- (3) 幹 事 会 若干回
- (4) 講 演 会 4 回
- (5) 研究発表会 若干回
- (6) ORサロン 若干回
- (7) シンポジウム 3 回
- (8) 研究部会 若干回
- (9) OR企業サロンへの協力

(10) ORセミナーの開催

(11) 会員増強活動

(12) その他

4. 平成3年度予算

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	193,585	会議費	20,000
本部交付金	414,400	講演会費	80,000
預金利息	1,000	研究発表会費	10,000
		ORサロン費	40,000
		シンポジウム費	150,000
		研究部会費	150,000
		通信費	80,000
		印刷費	30,000
		交通費	25,000
		事務費	20,000
		予備費	3,985
合 計	608,985	合 計	608,985

5. 平成3年度支部役員

支部長 権藤 元

副支部長 尾崎俊治, 梶田賢作, 田中 博, 広瀬圭介

支 部 青木兼一, 石井博昭, 石田徳孝, 奥村

評 議 員 寛, 河合 一, 久保田洋志, 坂和正敏,

佐藤洋一, 住山哲夫, 成久洋之, 浜岡尊, 平木秀作, 藤永靖彦

支部監事 玉廣靖司, 和田 弘

支部幹事 宇佐川雄士, 海生直人, 門田博隆, 金子

雅彦, 金指正和, 桑原兵二郎, 佐藤泰司,

椿 康和, 榎本隆之, 松富達夫, 松廣

斎, 向井 勉, 光藤 昇, 山田 茂

九州支部

日時：平成3年5月24日 (14:30~18:30)

場所：九州電力㈱

議題：

1. 平成2年度事業報告

(1) 総 会

平成2年5月11日15:30 (九州電力㈱第2別館)

① 平成元年度事業報告および決算報告

② 平成2年度事業計画および予算案

③ 支部役員選出について

(2) 運営委員会

平成2年3月16日

総会に先立ち、提出議案について審議した。

(3) 幹事会

平成2年3月16日

総会提出議案および運営委員会提出議案について検討した。

(4) 講演会

平成2年5月11日総会終了後、同会場において開催した。

講師：松本敏雄（安川電機）

演題：ジョイスティックコントロール

(5) 定例研究会および講演会

日 時	テ ー マ	講 師
8月20日	最短ルート問題のその後について	岩本誠一 (九州大学)
	雷予知システム	林 直紀 (ニシム電子工業)
	画像処理技術の最近の動向	石川聖二 (九州工業大学)
3年 1月18日	ファジィエキスパートシステムとその制御・診断への応用	前田幹夫 (九州工業大学)
	高炉・炉熱制御エキスパートシステム	上野保長 (住友金属工業)
	S I S の設計法に関して —ヘンダーソンの見解を中心として—	平田正敏 (西南学院大学)
3年 2月18日	可変構造型並列計算機の研究	福田 晃 (九州大学)
	FMS設計におけるシミュレーションの活用	末松哲夫 (安川電機製作所)
	北九州テクノセンタと地域活性化	前波 武 (北九州テクノセンタ)

(6) その他の活動

支部ニュース（4回）

(7) 会員の状況

正会員 143名、学生会員 3名、賛助会員（A 8社、B 9社）

2. 平成2年度決算報告

一般会計

(単位：円)

収 支	項 目	予 算 額	決 算 額
収 入	前年度繰越金	835,988	835,988
	本部交付金 (年間会費)	462,200	462,200
	本部交付金 (講演会)	18,000	0
	利 息	11,000	5,561
	合 計	1,327,188	1,303,749
支 出	会 議 費 (総 会)	110,000	93,472
	会 議 費 (支部長会議費)	70,000	70,000
	運営会議費	30,000	16,000
	幹事会議費	30,000	10,000
	研究活動費		
	研究会費 (含 講演)	190,000	109,340
	見学会費	10,000	0
	通信運搬費	120,000	120,676
	消耗品費	5,000	370
	そ の 他	5,000	0
	3年度春季全国大会準備費	500,000	248,435
	合 計	1,070,188	668,293
残 高	次年度繰越金	257,188	635,456

3. 平成3年度事業計画（カッコ内は担当者）

日 時	
8月	研究会(西鉄, 九工大) 講演会(九大)
10月	見学会(西部電機他)
11月	研究会(新日鉄, 西南大) 講演会(九工大)
4年2月	研究会(住金, 九産大) 講演会(西南大)

4. 平成3年度予算

(単位：円)

収 支	項 目	予 算 額	
収 入	前年度繰越金	635,456	
	本部交付金 (年間会費)	505,400	正 会 員 267,000
	本部交付金 (講演会)	18,000	賛助会員 238,400
	利 息	11,000	
	合 計	1,169,856	

収支	項目	予算額
支出	会議費 (総会)	100,000
	会議費 (支部長会議費)	70,000
	運営会議費	30,000
	幹事会議費	30,000
	研究活動費	
	研究会費 (含講演)	190,000
	見学会費	10,000
	通信運搬費	120,000
	消耗品費	5,000
	平成3年度全国大会補助	150,000
その他	5,000	
	合計	710,000
残高	次年度繰越金	459,856

5. 平成3年度支部役員

支部長 藤野義一 (九州産業大学)
 副支部長 岩本誠一 (九州大学), 滝水莞爾 (住友金属工業㈱)
 支部 須永照雄 (九州大学), 児玉正憲 (九州大学), 松山久義 (九州大学), 山川典宏 (九州産業大学), 村上周太 (九州工業大学), 藤戸正行 (新日本製鉄), 野村 武 (西日本新聞社), 横山 清 (安川電機製作所), 大山立雄 (安川電機製作所), 小柳 伸 (九州電力), 松尾俊彦 (西日本鉄道)
 支部監事 濱田和樹 (西南学院大学), 阿南信博 (西日本新聞社)
 研究会 小山由克 (九州電力), 松尾俊彦 (西日本鉄道), 北見正則 (新日本製鉄), 堀尾宏一 (住友金属工業), 時永祥三 (九州大学), 前田 博 (九州工業大学), 濱田和樹 (西南学院大学), 国狭武巳 (九州産業大学), 有竹岩夫 (安川電機製作所)

日本オペレーションズ・リサーチ学会編

9月下旬刊

OR事例集 1991

A5判・約240頁・予価3,200円

1975年、日本OR学会によって刊行された『OR事典』は「理論編」と「応用編」から成っている。このうち「応用編」の続編として、1983年に『OR事例集』が同じく日本OR学会から刊行された。本書はそのまた続編として位置づけられるものである。

事例は『OR事典』および『OR事例集』の場合と同じく、分野と手法という2つの視点から分類し、その順序に従って配列してある。前編同様事例の番号を記入したマトリックスを掲載した。

〈掲載事例の一例〉志望校併願データから導かれる受験生の大学・学部に対する選好/建設業におけるシミュレーション技法の利用/線形計画法による部分所要量分析方式の提案/多品種多段工程生産工場の操業計画システム/ソフトウェア設計品質の定量化手法/物流施設最適立地問題に関する研究/設備更新問題へのコスト分析モデルの適用—技術進歩下における更新時点の決定/多次元デュアレーションを用いた債券ポートフォリオ分析/類似度を導入したファジイ回帰分析による職員数モデル/接続品質の公平性を実現するパケット網の回線設計法/リニアモータ郵便輸送システム構築のためのシミュレーション分析/ニューラル・ネットワークの医療への応用/配電系統の最適供給計画/市街化適性の地域的評価へのAHPの適用 (全408事例)

OR事典

OR事典編集委員会編
A5・定価15,450円(税込)

OR事例集

OR学会編
A5・定価2,472円(税込)

 日科技連出版社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 振替 東京7-7309
電話03(5379)1238 FAX03(3356)3419 [図書目録送呈]